ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

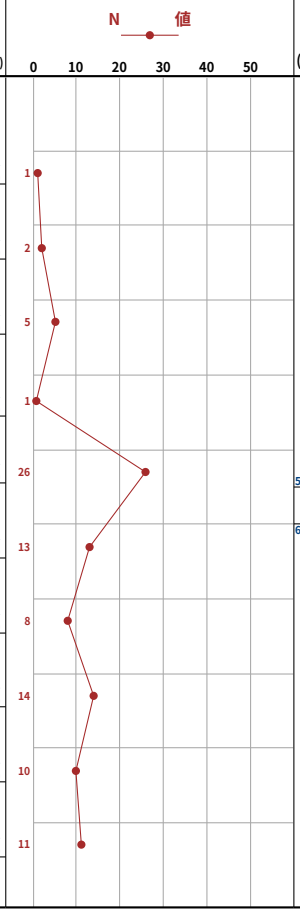
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.3	調査位置				北　緯	36 ° 21 ' 06.0000 "
発注機関	栃木県栃木土木事務所			調査期間	2007-03-08 ～ 2007-03-09	東　経	139 ° 50 ' 23.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	47.03 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	10.45 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	46.73	0.30	0.30		盛土（粘性土）(C)	暗茶褐			有機質粘性土　φ30～50mmの礫混入		
	46.23	0.50	0.80		ローム (Lm)	茶褐			含水分少ない　粘性弱い 酸化物混じる		
1	45.28	0.95	1.75		軽石 (Pm)	黄褐		に軟らかい	含水分中位　粘性弱い φ2～5mm程度の軽石主体　粘土分混入		
2 3 4	42.08	3.20	4.95		ローム (Lm)	茶褐		軟らかい	含水分少ない　粘性弱い 所々に炭化物、酸化物を混入する 3.00m付近はやや固結する 4.00m以深は含水分多く、やや粘土化する		03/10 4.80 03/09 5.10
5	40.83	1.25	6.20		砂礫 (GS)	暗褐灰	中ぐらい		含水分やや多い 礫はφ5～20mmの亜円礫主体 マトリックスは粗砂主体		
6 7 8 9 10	36.58	4.25	10.45		粘土混じり砂礫 (GS-C)	茶褐	中ぐらい		含水分やや多い　所々、粘土分多く混入 礫はφ2～20mm程度を混入する 8.00m付近は含水分少ない 9.00m付近より礫分少なくなり、浮石を混入する。 9.00m以深は含水分多い		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／30			1／30	1
1.45					
2.15		1／20	1	2／30	2
2.45					
3.15	2／15	1／5	2	5／30	5
3.45					
4.15	1／40			1／40	1
4.55					
5.15	8	9	9	26／30	26
5.45					
6.15	6	4	3	13／30	13
6.45					
7.15	3	2	3	8／30	8
7.45					
8.15	5	5	4	14／30	14
8.45					
9.15	3	3	4	10／30	10
9.45					
10.15	4	4	3	11／30	11
10.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果
5.50	透水試験 7.05E-03
6.00	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
3.80	T3-1		物理三軸圧密	
4.60				03/09